

ひろしまイノベーション推進機構の概要及び投資先企業の状況について

1 ひろしまイノベーション推進機構の概要

株式会社ひろしまイノベーション推進機構は、県が示した投資原則に沿って、広島を中心とする経済圏で事業活動を行い、新たなアイデアでモノや情報、仕組などを組み合わせ、新たな価値を創造していくイノベーションを通じて、新たな成長を目指す企業等を対象に、資金、経営ノウハウ等必要な経営資源を提供することにより、企業の成長を支援し、新たな雇用の創出や所得の拡大等広島県経済の発展に資することを目的としている。

(1) 概要

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 広島県広島市中区袋町3番17号 |
| 設立日 | 平成23年5月24日 |
| 資本金 | 5,000万円 [資本準備金5,000万円] (県100%出資) |
| 代表者 | 代表取締役社長 熊谷 賢一 |
| 投資事業組合 | 1号組合 (平成23年6月17日組成、40億5,500万円) ※うち県出資40億円 2号組合 (平成24年1月1日組成、65億2,000万円) 計105億7,500万円 ふるさと連携応援ファンド(3号組合) (令和2年1月1日組成。76億円) ※県は出資しない |

(2) 財務状況

[損益計算書等]

(単位：千円)

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 289,508 | 240,454 | 225,047 |
| 売上原価 | 7,692 | 5,697 | 8,932 |
| 販売費・一般管理費 | 201,095 | 215,145 | 213,834 |
| 営業損益 | 80,720 | 19,612 | 2,280 |
| 営業外収益 | 238 | 249 | 58 |
| 営業外費用 | 56 | 4,126 | 27 |
| 経常損益 | 80,903 | 15,734 | 2,311 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 |
| 税金等調整前当期純損益 | 80,903 | 15,734 | 2,311 |
| 法人税等 | 12,921 | 3,450 | 456 |
| 法人税等調整額 | 13,801 | 1,079 | 269 |
| 当期純損益 | 54,181 | 11,205 | 1,585 |
| 役職員数(人) | 11 | 12 | 13 |

※端数調整により合計が一致しない場合がある。

[貸借対照表]

(単位：千円)

| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|----------|---------|---------|---------|
| 資産の部 | 流動資産 | 383,774 | 371,768 | 351,349 |
| | 固定資産 | 30,046 | 37,186 | 49,491 |
| | 繰延資産 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 413,820 | 408,955 | 400,841 |
| 負債及び純資産の部 | 流動負債 | 97,564 | 82,172 | 73,143 |
| | 固定負債 | 2,780 | 2,100 | 1,429 |
| | 資本金 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| | 剰余金等 | 263,477 | 274,681 | 276,267 |
| | 評価・換算差額等 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 413,820 | 408,955 | 400,841 |

※端数調整により合計が一致しない場合がある。

[キャッシュフロー計算書]

(単位：千円)

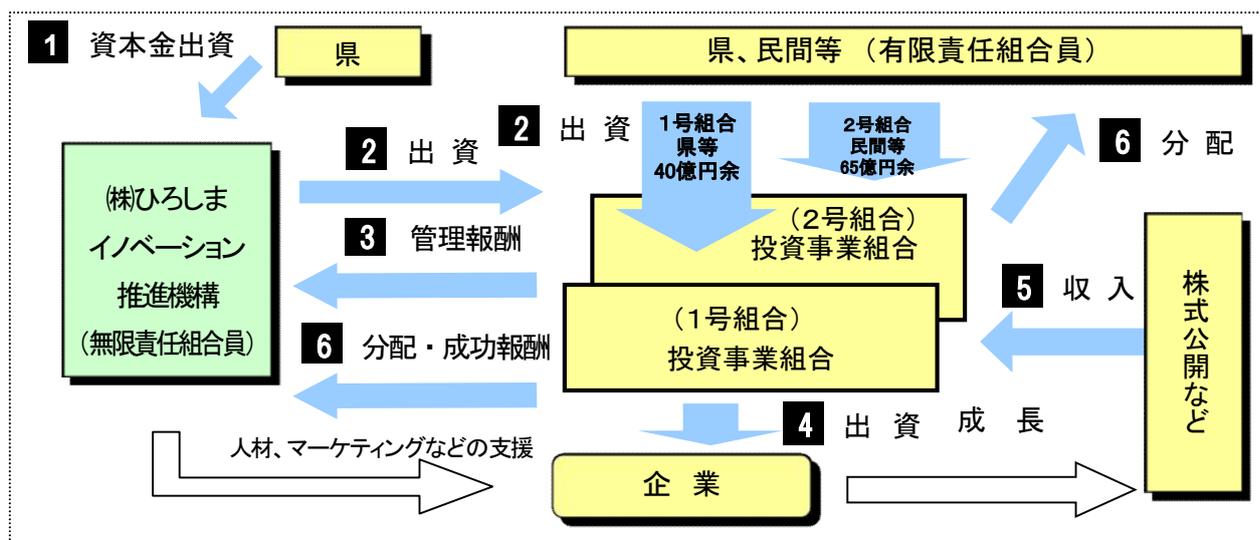
| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 営業活動によるキャッシュフロー | 85,072 | ▲2,951 | ▲9,754 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | 294 | ▲422 | 35 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | ▲787 | ▲801 | ▲815 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 367,481 | 363,306 | 352,771 |

2 投資事業組合の状況（1号組合・2号組合）

(1) 概要

| 名称 | ひろしまイノベーション推進 第1号投資事業有限責任組合 | ひろしまイノベーション推進 第2号投資事業有限責任組合 |
|------|---|---|
| 設立日 | 平成23年6月17日 | 平成24年1月1日 |
| 出資総額 | 40億5,500万円 | 65億2,000万円 |
| 存続期間 | 令和5年12月末まで | 令和5年12月末まで（延長2年目） |
| 出資者 | [有限責任組合員] 広島県 フェニックス・キャピタル(株) | [有限責任組合員] (株)みずほ銀行 フェニックス・キャピタル(株) (株)もみじ銀行 (株)三井住友銀行 広島信用金庫 NECキャピタルソリューション(株) 広島市信用組合 (独)中小企業基盤整備機構 呉信用金庫 広島県信用組合 [無限責任組合員] 中国電力(株) (株)ひろしまイノベーション推進機構 (株)中電工 マツダ(株) |
| 運営会社 | (株)ひろしまイノベーション推進機構 ※2組合計105億7,500万円を一体的・並行的に管理運用 | |

(2) スキーム図



(3) 投資実績 (令和6年5月31日時点)

(単位：百万円)

| | 投資先企業名 | 投資決定額 | 投資実行額 | 株式譲渡額 |
|---|----------------------------|--|-------|---|
| ① | オー・エイチ・ティー株式会社 (福山市神辺町) | 1,030 (H24. 4. 9 公表) | 1,030 | 2,667 (H28. 3. 23 公表) |
| ② | 株式会社サンエー (三次市南畑敷町) | 1,063 (H25. 4. 26 公表) (H26. 7. 9 公表) | 1,063 | 1,043 (H27. 8. 26 公表) |
| ③ | アイサービス株式会社 (尾道市美ノ郷町) | 314 (H26. 7. 9 公表) | 314 | 408 (H30. 10. 2 公表) |
| ④ | 株式会社ツーセル (広島市南区) | 799※ (H26. 11. 20 公表) | 799 | — (投資中) |
| ⑤ | 株式会社なかやま牧場 (福山市駅家町) | 735 (H27. 8. 20 公表) (H28. 10. 25 公表) | 735 | 1,204 (H30. 10. 2 公表) (R3. 10. 15 公表) |
| ⑥ | ルーチェサーチ株式会社 (広島市安佐南区) | 500※ (H29. 9. 14 公表) | 214 | 227 (R1. 10. 15 公表) |
| ⑦ | 株式会社ビーシー・イングス (広島市安佐北区) | 1,225※ (H29. 10. 30 公表) | 882 | 795 (R3. 10. 15 公表) |
| | 合計 | 5,666 | 5,037 | 6,343 |

※ 事業の進捗に応じて段階的に投資実行。

(4) 株式譲渡等に伴う県への出資金償還額

3, 4 3 1, 3 7 2, 7 0 9 円 (令和6年5月31日現在)

3 投資先企業（投資中）の状況等（1号組合・2号組合）

（単位：百万円）

（1）投資先企業（投資中）一覧（令和6年5月31日時点）

| 投資先企業 | 事業内容 | 投資決定額 |
|---------------------|---|-------|
| 株式会社ツーセル （広島市南区） | 医療用の遺伝子・細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究・開発・製造・販売等 | 799 |

（2）投資先企業（投資中）の状況

株式会社ツーセル

ア 企業概要（現況）

| | |
|------|---|
| 代表者 | 代表取締役社長 松本 昌也（まつもと まさや） |
| 所在地 | 広島市南区出汐1丁目6番10号 |
| 設立 | 平成15年4月23日 |
| 資本金 | 1億1,406万円 |
| 事業内容 | 大学の技術シーズを活用した、医療用の遺伝子・細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究開発・製造・販売、医療機器・医療用具の研究開発・製造・販売等 |

イ 投資の状況

（単位：百万円）

〔決定状況〕

| | 決定額 | 備考 |
|-------------|-------|-----------------|
| 平成26年11月18日 | 最大799 | 事業の進捗に応じて段階的に実行 |

〔実行状況〕

（単位：百万円）

| | 摘要 | 投資額 |
|-------------|------------|------|
| 平成26年12月11日 | 第三者割当増資の引受 | 155 |
| 平成28年5月26日 | 新株予約権の権利行使 | 155 |
| 平成29年7月6日 | 新株予約権の権利行使 | 310 |
| 平成30年9月5日 | 新株予約権の権利行使 | 155 |
| 合 計 | | 775※ |

※ 別途、投資に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

ウ 機構による支援の状況

- これまで、ガバナンス・経営管理体制の強化に資するよう、機構から社外取締役1名を派遣し、経営をモニタリングするとともに、事業戦略の実行支援、体制強化に伴う社内ルール等経営基盤の整備、経営管理体制の強化等、上場に向けた総合的な支援を実施してきた。
- また、機構の新株予約権の行使による資金支援に加え、機構が運用する投資事業有限責任組合の出資者を始めとするネットワークを活用した資金調達等の資本政策支援も実施してきた。

エ 経営の状況

- ・ 株式会社ツーセルは、膝軟骨再生細胞治療製品「gMSC®1」（以下「当該製品」という。）について、中外製薬株式会社（以下「中外製薬」という。）とライセンス契約を締結し、国内開発を進めてきた。
- ・ 令和5年3月9日に公表した当該製品の臨床試験の速報結果について、主要評価項目が未達であったことから、中外製薬と開発方針に関する協議を重ねた結果、双方の合意においてライセンス契約を解消することとなった。この契約解消により国内外全ての権利は中外製薬から同社に返還された。主要評価項目未達であったものの、副次的評価項目においては同製品の有効性が示唆されており、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）と初期的協議を行うなど、引き続き同製品の開発を進めている。
- ・ また、令和5年12月以降では、当該製品に関わった医師・教授らによる国内外での学会発表が始まり、アカデミアにおける当該製品の認知度が増してきたことに加え、不動産会社でヘルスケア事業にも注力する株式会社 HESTA 大倉との事業提携を通じて、メディア広告等での露出機会も増加している。
- ・ 併行して同製品の日本国内および日本以外の国・地域における販売、流通などに関する新たなライセンス契約交渉を積極的に進めているところである。

オ 財務の状況

[売上高及び損益等]

(単位：千円、千円未満切捨)

| | 令和3年3月期 (第18期) | 令和4年3月期 (第19期) | 令和5年3月期 (第20期) |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高 | 16,437 | 408,488 | 5,838 |
| 経常利益又は経常損失 | ▲1,340,101 | ▲1,101,415 | ▲1,395,696 |
| 当期純利益又は 当期純損失 | ▲1,345,151 | ▲1,105,255 | ▲1,399,536 |

[貸借対照表の要旨]

(単位：千円、千円未満切捨)

| | | 令和3年3月期 (第18期) | 令和4年3月期 (第19期) | 令和5年3月期 (第20期) |
|---------------------------------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 資産 の 部 | 流動資産 | 587,539 | 1,228,854 | 764,449 |
| | 固定資産 | 47,420 | 47,212 | 49,438 |
| | 合計 | 634,960 | 1,276,067 | 813,888 |
| 負債 及 び 純 資 産 の 部 | 流動負債 | 178,927 | 165,356 | 1,164,496 |
| | 固定負債 | 71,708 | 66,642 | 4,859 |
| | 株主資本 | 384,324 | 1,044,068 | ▲355,467 |
| | 資本金 | 2,578,875 | 3,461,375 | 100,000 |
| | 資本剰余金 | 2,568,875 | 3,451,375 | 6,812,750 |
| | 資本準備金 | 2,568,875 | 3,451,375 | 3,451,375 |
| | その他資本剰余金 | 0 | 0 | 3,361,375 |
| | 利益剰余金 | ▲4,763,425 | ▲5,868,681 | ▲7,268,217 |
| | 繰越利益剰余金 | ▲4,763,425 | ▲5,868,681 | ▲7,268,217 |
| | 合計 | 634,960 | 1,276,067 | 813,888 |

[売上高]

- ・ 令和5年3月期は提携先企業からのライセンス収入がなかったこと等によって、売上高が前期の約4億800万円から約600万円に減少した。

[当期純損失]

- ・ 引き続き、研究開発等を進めたことにより、当期純損失として、前期から約2億9,400万円減となる約14億円を計上している。

4 投資事業組合の状況（3号組合）

（1）概要

| | |
|-------|---|
| 名 称 | ふるさと連携応援ファンド投資事業有限責任組合 |
| 設 立 日 | 令和2年1月1日 |
| 出資総額 | 76億円 |
| 存続期間 | 令和11年12月末まで ただし、最長2年延長可 |
| 出 資 者 | [有限責任組合員] 株式会社広島銀行、株式会社もみじ銀行、広島信用金庫、広島市信用組合、 呉信用金庫、広島県信用組合、中国電力株式会社、株式会社中電工、 広島ガス株式会社、マツダ株式会社、リョービ株式会社、 田中電機工業株式会社、株式会社広島マツダ、広島県信用保証協会、 株式会社SBI新生銀行、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社三井住友銀行、 株式会社山陰合同銀行、株式会社中国銀行、三井住友信託銀行株式会社、 独立行政法人中小企業基盤整備機構 [無限責任組合員] (株)ひろしまイノベーション推進機構 |
| 運営会社 | (株)ひろしまイノベーション推進機構 |
| 投資対象 | 広島を中心とする経済圏において事業活動を行っている企業、今後行う 企業及び当該経済圏の企業と提携するなど広島を中心とする地域経済の 発展への寄与が期待できる企業 |
| 想定ニーズ | 事業承継及び成長投資、大企業のカーブアウト、非公開化 など |

(2) 投資の状況（令和6年5月31日時点）

令和2年度から次の企業に対して投資を行い、経営参加型の支援（社外役員の派遣等）を行っている。

| 企業名（所在地） | 事業内容 | 公表日 |
|-------------------------------|---|------------|
| 株式会社キングファクトリーグループ （広島市中区） | 飲食業（広島式汁なし担担麺専門キング軒、おこのみ魂悟空の運営等） | 令和2年4月13日 |
| 株式会社ミルテル （広島市南区） | 血液検査事業（ミアテスト®（疾患リスクの早期検査）、テロメアテスト（遺伝子の疲労度測定）及び関連事業の研究開発等） | 令和2年4月24日 |
| | →戦略的事業パートナーに株式譲渡済み（令和5年12月19日公表） | |
| 株式会社フタバ図書 （広島市西区） | 書籍、文具雑貨、中古品等の販売及びレンタル並びにアミューズメント施設等の運営 | 令和3年1月28日 |
| 株式会社ツーセル （広島市南区） | 医療用遺伝子及び細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究・開発・製造・販売等 | 令和3年10月15日 |
| 株式会社ボレー （福山市新市町） | レディスボトム等の企画・製造 | 令和4年4月27日 |
| 瀬戸内通信鋼業株式会社 （尾道市高須町） | 携帯電話中継局用アンテナ・無線機等取付け部材の設計・製造 | 令和4年11月1日 |
| 株式会社フタバ図書 （広島市西区） ※追加投資 | 書籍、文具雑貨、中古品等の販売及びレンタル並びにアミューズメント施設等の運営 | 令和5年3月20日 |
| 株式会社ファイン （徳島県阿波市） | アルミサッシ建材の製造販売及び付随する建築工事 | 令和6年1月11日 |
| 株式会社リンクス （徳島県名西郡石井町） | | |
| 株式会社クリスタルプロセス （東広島市鏡山） | コーティング剤・研磨剤等の表面処理技術の研究開発及び製造、販売 | 令和6年1月12日 |
| 株式会社ツーセル （広島市南区） ※追加投資 | 医療用遺伝子及び細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究・開発・製造・販売等 | 令和6年4月26日 |